

ハヤブサ

世界一速い鳥



『ギネス世界記録』に「急降下するときにはいちばん速い鳥」としてのっているのが、ハヤブサです。学名は「ファルコ・ペレグリヌス」。ペレグリヌスは、ラテン語の「旅人」という意味です。その名のとおり、ハヤブサは南極大陸をのぞくすべての大陸にすんでいます。

ギネス世界記録によると、急降下のときの速さは時速約三百二十キロメートル。新幹線のいちばん速い列車と同じくらいです。一九九九年には、飛行機から放されたハヤブサが、時速三百八十九キロメートルを記録したとも報告されています。

いっぽう、ふつうに飛ぶときは時速四十から五十五キロメートルほどで、えものを追うときでも時速百十キロメートルほどです。(1)、ハヤブサの速さのひみつは、高い所から落ちるいきおいにあるのです。急降下では、つばさを体にぴったりとたたみ、まっさかさまに落ちていきます。

ハヤブサはとも目がよく、その視力は人間の八倍ともいわれています。千五百メートルもはなれた所から、小さな鳥に近づいていく様子も観察されています。目にはまぶたのほかに、とうめいなうすい膜(まく)があります。急降下のときには、この膜で目をおおい、強い風やごみから目を守っていると考えられています。まぶたをと同じれば目は守れますが、それではえものが見えなくなってしまうです。(2)、この膜はすき通っているのです、目をおおったままでも、まわりを見ることができるようのです。

ハヤブサが主にねらうのは、空を飛んでいる鳥です。高い空からえものを見つけると、急降下のいきおいのまま足でけりつけ、空中でつかまえます。

二十世紀の半ば、ハヤブサの数は世界の各地で大きくへりました。原因は、DDTという農薬です。えさの鳥を通してハヤブサの体にたまり、卵のからをうすくしてしまったのです。からのうすい卵は、親があたためようと上に乗るとわれてしまい、ひなが育ちませんでした。アメリカでは一九七三年、ハヤブサは絶滅(ぜつめつ)のおそれがある鳥に指定されました。(3)、DDTの使用が禁止され、人の手で育てたひなを野生に帰す取り組みも進められました。そのおかげで数を取りもどし、一九九九年には、絶滅のおそれがあるリストから外されました。

世界一速い鳥の記録は、落ちるいきおいを使いこなす体と、遠くのえものを見のがさない目に支えられています。そして、一度は数を大きくへらしながらも、人の助けで空にもどってきたのです。

選択

文章の(1) (2) (3) に入る言葉を、それぞれア〜ウから選んで○をつけましょう。

- | | | | |
|---|--------|--------|-------|
| ① | ア たとえば | イ つまり | ウ さらに |
| ② | ア ところが | イ だから | ウ すると |
| ③ | ア それでも | イ なぜなら | ウ そこで |

記述(1)

二十世紀の半ばに、ハヤブサの数が大きくへったのはなぜですか。文章をもとに書きましょう。

記述(2)

あとの12個から言葉を選んで(1) に入れ、文章全体をまとめましょう。

南極大陸をのぞく(1) (2) の大陸にすむハヤブサは、急降下のとき時速約(3) (4) キロメートルで飛ぶ、世界一速い鳥です。速さのひみつは、高い所から(5) (6) いきおいです。(7) (8) な膜で目を守りながら急降下し、そのいきおいのまま、えものの鳥を(9) (10) でつかまえます。農薬で卵の(11) (12) がうすくなり、数が大きくへりましたが、人の助けで数を取りもどしました。

すべて 半分 三百二十 三百八十九 落ちる 走る
とうめい まっ黒 空中 水中 から 中身

漢字

漢字に直して書きましょう。

- | | |
|----------|----------|
| (1) せきにん | (3) こうぞう |
|----------|----------|

- | | |
|---------|----------|
| (2) きけん | (4) せいしつ |
|---------|----------|

--	--

--	--

--	--

--	--



こたえ

ハヤブサ

選択

① イ ② ア ③ ウ

① Ⅱつまり／② Ⅱところが／③ Ⅱそこで

記述

(1) DDTという農薬がハヤブサの体にたまって卵のからがうすくなり、
親があなたためようと上に乗るとわれて、ひなが育たなかったから

(2) ①すべて ② 三百二十 ③ 落ちる ④ とうめい ⑤ 空中 ⑥ から

(1) は同じ意味が書けていれば○です

漢字

(1) 責任 (2) 危険 (3) 構造 (4) 性質

